

YMFG

アジアニュース

2021年10月

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【青島支店】

青島における物流網の発展について

1. はじめに

日本をはじめ、世界各国では依然として新型コロナウイルスの感染拡大が続く、「ロックダウン」や「行動制限」「営業自粛」などの言葉がよく聞かれます。

しかし、中国では当局主導による徹底的な抑え込み策が功を奏しており、外出する時や仕事の時にマスクを着用する以外はコロナ前とあまり変わらない日常を取り戻しつつあります。

そんな中、青島では8月12日、新たな国際空港として青島膠東国際空港が開港となりました。この新空港は、需要急増によりキャパシティオーバーとなりつつあった青島流亭国際空港に代わる空港として6年前より建設が開始されていました。

新型コロナウイルスの影響により、渡航や物流が世界的に制限されている中で、恐らく他の国であれば開港は延期となっていたかもしれませんが、逆風ともいえるこの時期に敢えてオープンしたこの青島膠東国際空港や流通についてご紹介することで、今後の対中ビジネスを考えるうえでご参考になれば幸いです。

2. 青島膠東国際空港オープン

39年間に亘り使われてきた青島流亭国際空港は年間2,500万人が利用する空港でしたが、市街地に近いため急増する中国人旅行者に合わせて拡張することが難しく、青島市中心街から約55kmの郊外へ新空港を建設することになりました。

新空港は「ヒトデ」の形をしたデザインをしており、計画では、2025年までに年間3,500万人の利用、2045年には年間5,500万人の利用を見込んでいます。日本との直行便は、コロナ禍の現在、成田-青島間のみとなっていますが、正常化以降は従来より多くの直行便が就航することが

期待されています。

また、新空港は、単に一地方都市の空港ではなく、北東アジアのハブ空港を目指しており、特に地理的に近く経済力のある日本、韓国へのゲートウェイとしての役割を強化することを目指しています。そのためには中国国内へのアクセスも重要となるため、同じ建物に地下鉄、高鉄（新幹線）を直結し、高速道路も整備しました。

今後は新空港周辺の開発も急ピッチで進められる予定になっており、物流やハイテク産業の集積地となることが期待されています。

【青島膠東国際空港】



出典：新華網

3. コロナ禍の流通事情

中国は、新型コロナウイルスを抑制する過程で、重視したのは流通業界でした。世界各国や中国各地から届く荷物からコロナウイルスが検出されたとの報道が相次ぎ、荷物に対しても PCR 検査が義務づけられる等、海外から届く荷物に対して厳格な検査が実施され、日本からの荷物が税関で引っかかるようになった時期もありました。

また、流通業界に従事する人に対しては定期的な PCR 検査が義務付けられたほか、ワクチンも一般人に先駆けて接種を要請しました。徹底した制限策を経て、現在では中国全土を感染状況に応じて「低・中・高」にリスク分類し、低リスク地域ではむしろ流通を奨励し、一定の地域内ではツアー旅行なども大々的に行われるようになりました。

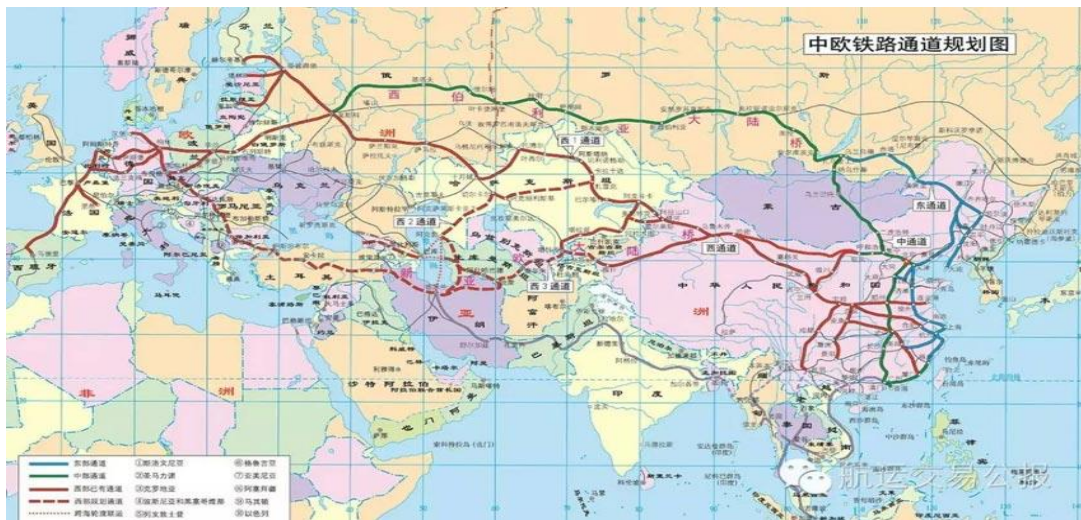
4. 陸路で繋がる欧州

その他の流通事情として、陸路の新たな動きをご紹介します。「中欧班列」は固定した便数と路線で運行されている中国と欧州および「一帯一路」沿線諸国を結ぶ国際コンテナ貨物列車です。

中欧班列は 2017 年に青島（膠州）からも運行が開始されています。中欧班列は、一帯一路を推進する上で、重要な役割を持ち、中国の主要都市から欧州向けに荷物を輸送したり、欧州からの荷物を中国に輸送し、中国国内だけでなく最終的に日本、韓国にも輸送されています。鉄道輸送の魅力としては、航空輸送より安く、海上輸送より早い点がメリットとして挙げられます。2020 年の年間運行便数は前年から 50% 増の 1 万 2,400 便、結ばれている欧州の都市は 20 ヶ国約 90 都市となっています。

青島から輸送する場合、線路規格の都合上、一旦ワルシャワ（ポーランド）まで運ばれ、その後、別の列車に積み替えを行ったうえで、欧州各都市へ輸送されます。ワルシャワまでの輸送日数は約 20 日程度であり、海上輸送の場合と比べ約半分程度の期間で送ることが可能です。最近では、世界的にまだ新型コロナウイルスの感染収束が見通せない中、海上輸送費が高騰しており、代替手段として鉄道輸送に切り替える会社も増えてきているようです。

【中欧班列運行路線図】



出典：中欧班列 HP

5. スマート化する青島港

青島港は、2020 年の貨物取扱高において中国国内で 5 番目、世界では 6 番目の規模であり、中国で主要な港の一つに数えられています。3 つの港区を持ち、コンテナ、石油、鉄鉱石、穀物等を主に取り扱っており、世界 130 ヶ国以上、450 以上の港と貿易を有し、中国国務院により北東アジア国際ハブ港として位置づけられています。

増加するコンテナを捌くために効率的な港湾運営も進めており、コンテナターミナルの一部を全自動化しています。無人ふ頭では、無人運搬車が活躍しており、港での積み卸しからコンテナヤード内での運搬、ゲートでのチェックまで、全ての業務プロセスは自動化されており、岸壁クレーンの一基あたり 1 時間の作業効率は平均で 39.6

コンテナと、従来の人手による作業を上回っています。青島港のスマート化は世界から注目されています。

【全自動化で稼働中の青島港】



出典：筆者撮影

6. 終わりに

中国は、現在「一帯一路構想」を実現すべく毎年交通インフラに莫大な投資を行い、国内だけではなく、諸外国との経済的な結びつきを強化しています。青島は立地優位性もあり大きな役割が期待されています。8月の新空港開港を契機として、陸、海、空の輸送機能を備えた総合物流ハブとしての魅力が高まっています。グローバルに人、モノの移動が可能な青島は、北京、上海ほどの大都市ではありませんが、物価は比較的安く、住環境も整っており、青島を拠点としたビジネス展開も一考する価値はあると思います。

山口銀行青島支店では、海外ビジネス支援のための情報提供、ビジネスマッチング等を実施しています。是非お気軽にお問合せ下さい。

(山口銀行青島支店 上村 尚志)

【参考文献】

JETRO 国際貨物列車「中欧班列」の2020年の運行本数は過去最多の1万2,400本

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/01/b7e7331386244c62.html>

新浪財経済 (2021年2月1日)

<https://finance.sina.com.cn/china/gncj/2021-02-01/doc-ikftpny3169669.shtml>

国土交通省統計情報 世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング(速報値)

<https://www.mlit.go.jp/statistics/details/port-list.html>